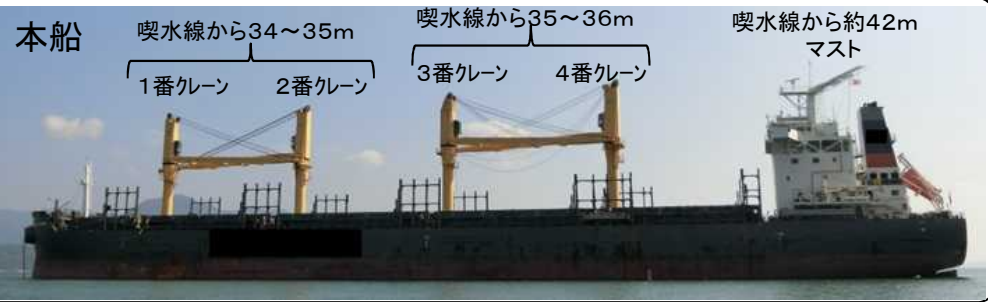


# 貨物船ERNA OLDENDORFF 衝突(橋梁)事故 経過報告の概要

発生日時：平成30年10月22日 午前00時27分ごろ  
 場所：大島瀬戸（山口県柳井市と周防大島町に架かる大島大橋）

- 【概要】
- ・ ERNA OLDENDORFF\* (総トン数25,431トン、乗組員21人)は、大島瀬戸を東進中、大島大橋に衝突した。
  - ・ 本船のクレーン及びマストが損傷、大島大橋に設置されていた送水管が破断し、周防大島町のほぼ全域に1か月を超える断水が生じた。



\* 船籍：マルタ共和国、船長及び航海士：インドネシア共和国籍、船舶所有者の所在地：ドイツ連邦共和国

## これまでの調査により確認された事実情報（乗組員の口述）

航海士が電子海図情報表示装置（ECDIS※）を使用して航海計画を作成（目的地の江田島に最短経路となる計画とした）

※ECDISとは、電子海図上に自船の位置や予定航路等を表示できる装置

10月20日

船長が航海計画を確認し、署名

21日 07時ごろ 温山港（韓国）を出航

21日 午後

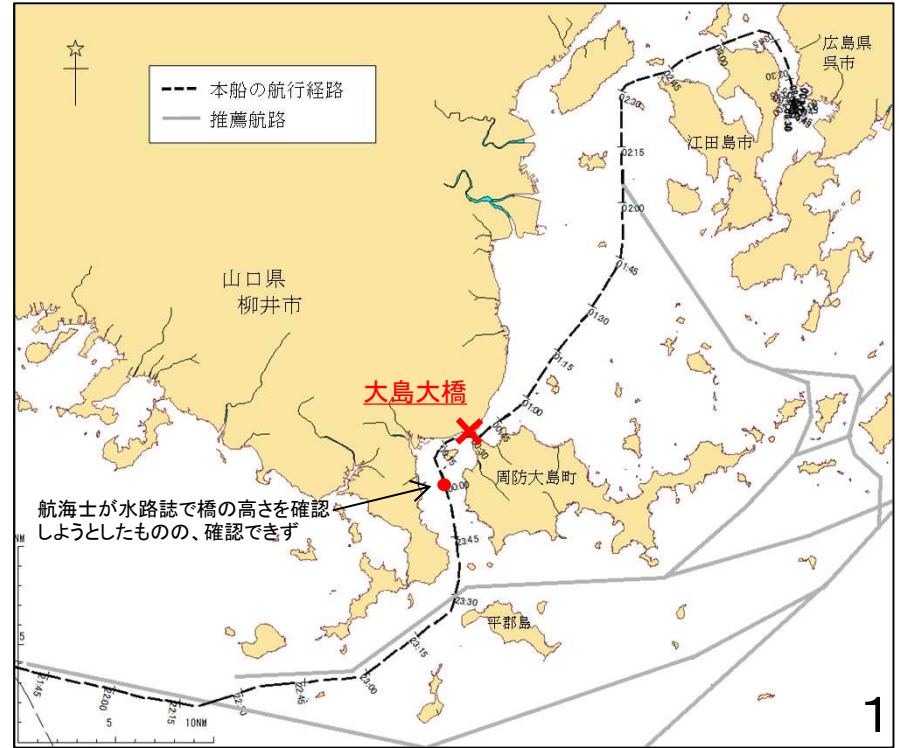
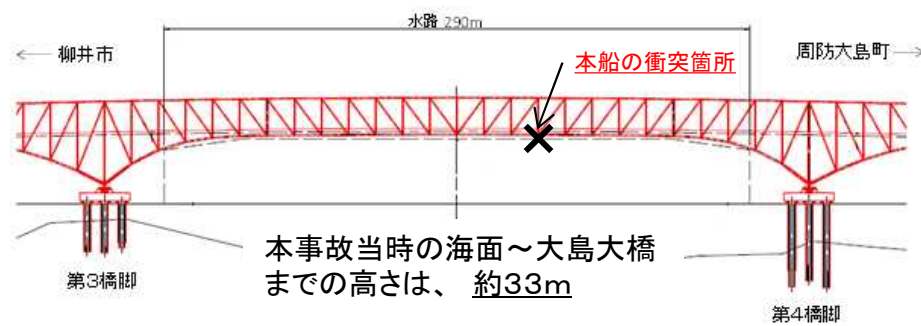
船長と航海士が航海計画を再度確認

22日 00時少し前（事故の約30分前）

船長が、大島大橋の高さに不安を感じ始め、航海士に高さを調べるよう指示  
 航海士が、水路誌を用いて橋の高さを確認しようとしたものの、確認できず

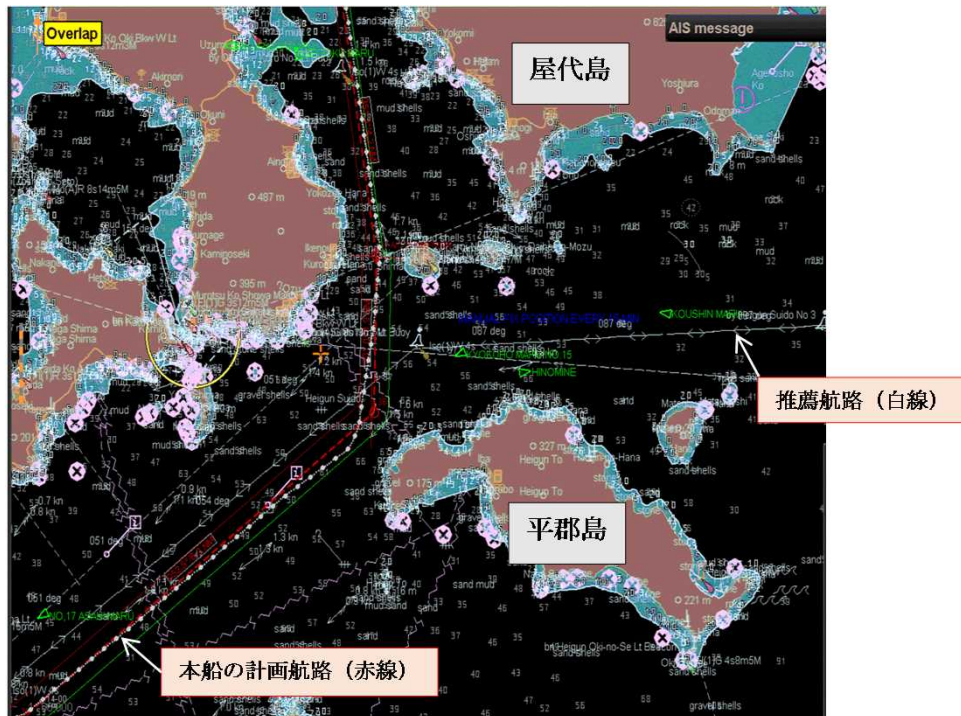
22日00時27分ごろ 大島大橋に衝突

（船長は10月16日、航海士は7月22日から、それぞれ本船に乗船しており、また、兩人共に大島瀬戸を航行するのは今回が初めてであった。）



## これまでの調査により確認された事実情報（口述以外の情報）

- 本船の航海情報記録装置（VDR）に記録されていたECDISの画像には、推薦航路の表示があり、また、大島大橋の高さが24mと表示されていた。



- 航海士が使用した水路誌には、索引から「大島大橋（Oshima Bridge）」に関する情報が掲載された項目を参照すると、その項目には同橋の高さに関する記載がなく、大島瀬戸の一般情報に関する項目の一部として同橋の高さが24mと記載されていた。